

大項目:エ-(オ)-a 持続可能な都市・集落の実現に向けた手法の構築

取組名:エ-(オ)-a- 1. 地域の評価分析や維持に関する研究開発

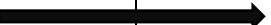
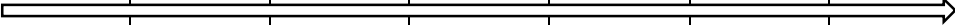
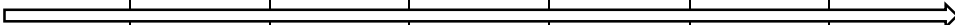
研究・技術 領域	取り組み内容	第3期	第4期					第5期	成果の普及、利 用場面	アウトカム(想 定する効果)
		～R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12～		
(1) 広域的・中 長期的視点 からの地域 診断	①地域診断手法の開発			インフラ・サービス・労働力・住まいの視点による地域診断手法の開発					・道、市町村、道 総研が研修やセミ ナー等で利用・普 及 ・市町村の政策検 討、住民対話にお いて利用	客観的な地域 評価に基づく 持続可能な地 域運営の実現
(2) 持続性の高 い地域形成	①生業と生活を包括的に捉えた持続性の 高い地域形成のための研究と実践		地域運営組織の形成支援 地域水供給インフラの運営・再編支援システムの開発 地域の移動資源を活用した交通システムの構築 人口減少に適応した産業維持・地域運営とそれに伴う基盤整備の手法の開発						・道、道総研が研 修やセミナー等で 利用・普及 ・市町村の政策検 討において利用 ・地域運営の担い 手の活動内容検 討において利用	人口減少に適 応した産業維 持・地域運営 とそれに伴う 基盤整備の実 現
(3) 住まいづく りとストック 活用	①これからの住まいづくりとストック活用の 方策の研究	戸建て空き家・空き家予備軍の 把握・評価ツールの開発		住み継ぎに向けた空き家対策に関する方策の構築					・道、道総研が研 修やセミナー等で 利用・普及 ・建設不動産関係 者への情報提供 ・市町村の政策検 討において利用	良質な住宅ス トックの形成支 援による将来 的な既存ストック 活用促進の実 現

大項目:エ-(オ)-b 安全な地域・建築を実現する技術の構築

取組名:エ-(オ)-b- 1. 地域の防災対策に関する研究開発

研究・技術 領域	取り組み内容	第3期	第4期					第5期	成果の普及、利 用場面	アウトカム(想 定する効果)
		～R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12～		
(1) 大規模地 震・津波対 策	①北海道の想定地震における被害想定と 防災対策に関する研究	日本海・オホーツク海・海溝型地震の 被害想定・防災対策の評価 →				災害リスクと防災対策効果の評価手法の高度化 →			道の被害想定や 減災計画への反 映と市町村の防 災対策への普及	減災対策の推 進による道民 の生命・財産 の保護
	②積雪寒冷地における津波避難対策に関 する研究	防災教育の実践・教材の開発 →				津波避難対策手法の開発 →			道や市町村の津 波避難計画への 反映	
(2) 地域のリス クマネジメ ント	①防災まちづくり計画等の策定支援のた めの研究	防災まちづくり評価ツールの開発 →			評価ツールを活用した市町村への各種 防災まちづくり計画策定手法の提案 →				市町村の事前復 興まちづくり計 画及び公共施設 整備事業等に反映	地域の安全性 向上による道 民の生命・財 産の保護
(3) 住まいの防 災・災害対 策	①住まいの耐震化や室内安全対策、被災 者の住まい対策に関する研究	木造応急仮設住宅の速やかな供給 及び転用のための仕様提案 →		住まいの耐震化促進の支援と室内安全対策の提案 →					・道や市町村の耐 震改修促進計 画の施策への反映 ・セミナー等で居 住者・技術者に住 まいの安全対策 を普及	住まいの安全 性向上による 道民の生命・ 財産の保護
	②災害発生時及び発生後の対応								道や市町村の応 急・復旧・復興対 策への反映	

取組名:エ-(オ)-b- 2. 建築物の防火・構造強度等に関する研究開発

研究・技術 領域	取り組み内容	第3期	第4期					第5期	成果の普及、利 用場面	アウトカム(想 定する効果)
		～R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12～		
(1) 建築物の防 火安全	①断熱化された防耐火構造外壁の性能評価技術・部材・設計法の開発	数値解析を用いた木造外壁の 防耐火性能予測法の開発  高断熱仕様の耐火・準耐火外壁の開発  							・国の告示や防耐火構造性能評価業務への反映 ・共同研究者等による大臣認定取得・建築設計者等への普及	・建築物の安全性向上による道民の生命・財産の保護 ・道内建築事業者の技術力向上による産業振興
(2) 建築物の構 造安全	①北海道に適した建築物・建築部材の構造技術の研究								・道総研の技術資料等を通じた技術者への普及 ・道の耐震改修施策で活用	・建築物の安全性向上による道民の生命・財産の保護 ・道内建築事業者の技術力向上による産業振興

大項目:エ-(オ)-c 暮らし・産業を支える建築技術の構築

取組名:エ-(オ)-c- 1. 建築物に関するエネルギー利用や建築環境形成の研究開発

研究・技術領域	取り組み内容	第3期	第4期					第5期	成果の普及、利用場面	アウトカム(想定する効果)
		～R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12～		
(1) 建築物の運用時の脱炭素化の推進	①建築物の効率的なエネルギー利用手法の開発	➡	エネルギーマネジメントによるエネルギー利用の効率化 日射利用等による省エネルギー技術の高度化 再生可能エネルギーの高効率利用システムの開発 公共施設のエネルギーマネジメント手法、熱源容量の最適設計手法の構築						・道総研の技術資料等を通じた技術者への普及 ・共同研究者等による実用化 ・道の住宅等の施策への反映 ・市町村への技術支援	・建物運用時のCO ₂ 排出量低減 ・良質な建築ストックの形成
	②既存・新築住宅の省エネルギー化技術の開発		既存住宅の省エネ診断・改修技術の開発							
(2) 健康快適な暮らしの実現	①建築環境の評価・制御手法の開発		生産物に適した建築環境形成等のための技術開発						・道民向けセミナーや資料による普及 ・建築・一次産業等の関係団体への技術移転による普及 ・市町村への技術支援	・道民の健康維持への貢献 ・一次産業等の生産性向上

取組名:エ-(オ)-c- 2. 建築技術の高度化のための研究開発

研究・技術 領域	取り組み内容	第3期	第4期					第5期	成果の普及、利 用場面	アウトカム(想 定する効果)
		～R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12～		
(1) 木造化及び 耐久性向上 の推進	①建築物の木造・木質化の推進に向けた 研究		木造化推進のための支援方策の構築 ➡						道総研の技術資 料等を通じた技術 者への普及	・道産材の利 用促進 ・建築物の長 寿命化
	②建築物の長寿命化・耐久性向上を実現 する研究				木造外壁の耐久性評価技術 ➡					
(2) デジタル技 術を活用し た省力化の 推進	①建築物の維持保全技術の開発	AIを活用したRC造建築物外壁 調査・診断等の支援技術の開発 ➡			三次元情報等を活用した 建築物の維持保全技術の開発 ➡				・共同研究者等 による実用化 ・調査会社や市町 村への技術支援 による利用	・良質な建築 ストックの形成 ・人手不足緩和